

令和4年度「市内の景観や都市デザインに関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q6の「交通利便性や生活支援施設等が充実していることのほかに、あなたが「住みたい・住み続けたい」と思う街はどのような街ですか」の質問に対して、「ア 緑や海・川などの自然がある」、「ウ 街の歴史や文化が感じられる場所がある」、「エ 街並みが美しい」の3つが回答の上位となり、本市の都市デザインの目標にも共通する事項が重視されていることが分かりました。都市デザイン50周年の節目として、今後の都市デザインのあり方を検討する際に参考とさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q7の「現在の横浜がより一層、「住みたい、働きたい、訪れたい」と思える街になるためには、どのような場所を魅力的にすることが重要だと思いますか。」の質問において、「イ 各駅周辺」との回答が35.6% (649人)、「ウ 生活に身近なエリア」との回答が52.9% (964人)と、「ア 都心部」との回答9.8% (178人)を大きく上回ったことから、都市デザインの郊外展開への期待を感じられる結果となりました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートに御協力いただきありがとうございました。自由記入欄も含め、貴重なご意見を多数頂き、大変参考になりました。今後も、市民の皆様が魅力的に感じることができる景観形成の推進により一層力を入れていきます。

令和4年3月から4月に開催した「都市デザイン横浜展」へたくさんの方に御来場いただき、ありがとうございました。引き続きTwitterなどを活用し、都市デザイン室が実施している事業の広報を行っていきますので、ぜひ下記都市デザイン室ツイッターアカウントのフォローや、講演会等の各種事業に御参加ください。

【都市デザイン50周年事業ホームページ】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/design/ud50th.html>

【都市デザイン室ツイッター：@yokohama_ud】

担当：都市整備局都市デザイン室・景観調整課

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。